

ECHONET APPENDIX A Errata

Date: May, 29, 2015
ECHONET CONSORTIUM

部	章	節	項	誤	正	備考
2				表2 識別番号のサイズ 7or19	9or17	
2	2	5		p.2-7の5行目 主理	修理	
2	11			「状態アナウンスプロパティマップ」は、プロパティの値が変化した場合にドメイン内一斉同報を行うことを示すプロパティマップである。	「状態アナウンスプロパティマップ」は、プロパティの値が変化した場合に、ECHONETではドメイン内一斉同報、ECHONET Liteでは一斉同報を行うことを示すプロパティマップである。	(2.11の7行目)ECHONET Liteにおいて、「ドメイン内一斉同報」の規定なし。
2	11			ECHONET及びECHONET Lite規格書の各オブジェクトのプロパティ規定における「状態アナウンス」欄にドメイン内一斉同報が規定されているプロパティに加え、	ECHONET及びECHONET Lite規格書の各オブジェクトのプロパティ規定における「状態アナウンス」欄にドメイン内一斉同報または一斉同報が規定されているプロパティに加え、	(2.11(5))ECHONET Liteにおいて、「ドメイン内一斉同報」の規定なし。
3	1	36		流量の積算値をcm3の単位で示す。プロパティの値域は、0x00000000から0x3B9AC9FF(0~999,999,999cc)とし	流量の積算値をcm3の単位で示す。プロパティの値域は、0x00000000から0x3B9AC9FF(0~999,999,999cm3)とし	
3	3	16		水流量メータクラスのプロパティ表内の水流量区分のEPCと積算水流量計測値のEPCが同じ値で定義されている。また同様に、所有者区分のEPCと積算水流量計測単位のEPCが同じ値で定義されている。	水流量区分のEPCを「0xD0」、所有者区分のEPCを「0xD1」に変更	
2				表2 規格Version情報のプロパティ内容 1バイト目:メジャーバージョン(小数点以上)をBinaryで示す。 2バイト目:マイナーバージョン(小数点以下)をBinaryで示す。 3バイト目:リリース順をASCIIで示す。 4バイト目:0x00固定(for future reserved)	表2 規格Version情報のプロパティ内容 1バイト目:0x00固定(for future reserved) 2バイト目:0x00固定(for future reserved) 3バイト目:リリース順をASCIIで示す。 4バイト目:0x00固定(for future reserved)	
2	3			規格Version情報のプロパティ値は対応する規格本体のVersion番号を2バイトのBinary値、APPENDIXのRelease順を1バイトのASCIIコードで示す。 1バイト目がメジャーバージョン(小数点以上)を、2バイト目がマイナーバージョン(小数点以下)を、3バイト目がRelease順を示す。 Version 2.10、APPENDIXのReleaseがaの場合、1バイト目は0x02(2)、2バイト目は0x0A(10)、3バイト目は0x61(a)となる。 また、4バイト目は将来拡張用として本Versionでは、0x00固定とする。	規格Version情報のプロパティ値は、対応するAPPENDIXのRelease順を1バイトのASCIIコードで示す。 1バイト目、2バイト目は将来拡張用として、本Versionでは、0x00固定とする。 3バイト目がRelease順を示す。 また、4バイト目は将来拡張用として本Versionでは、0x00固定とする。	
2	12			識別番号プロパティは、機器オブジェクトを固有に識別する為の番号である。1byte目で固有番号形式を示す。 メーカー規定形式……	★表中の記載 1バイト目:下位通信層IDフィールド 0x01~0xFD: 下位通信層で使用される通信プロトコルで固有の番号が振られている場合、プロトコル種別に応じて、任意に設定(ECHONET Liteでは使用しない) 0x11~0x1F:電灯線a,d方式 …… 0xB2:IPv6/6LoWPAN 0xFE:2~17バイトをメーカー規定。形式により設定 0xFF:2~9バイトを乱数により生成するプロトコルを下位通信層で使用する場合に設定 0x00:識別番号未設定 2バイト目以降:固有番号フィールド ★詳細定義 識別番号は、オブジェクトをドメイン内で一意に識別するための番号である。以下にECHONET、及びECHONET Liteにおける定義内容について示す。 ・ECHONET定義 本プロパティは、下記通信ソフトウェア種別毎に定義されたIDを格納する下位通信ソフトウェアIDフィールドと…(ECHONET Ver4.0参照) ・ECHONET Lite定義 ECHONET Liteでは下位通信層のプロトコル種別を定義しないため、下位通信層のプロトコル種別として、0xFE、0xFF、0x00のみ対応する。 メーカー規定形式……(ECHONET Lite Ver100_02参照)	
2				表2の位置情報プロパティの状態アナウンス列	表2の位置情報プロパティの状態アナウンス列に「0」を追加	位置情報プロパティに状態変化があった場合は、通知する事
2				表2の現在年月日情報のプロパティ内容 0~0x270F:0~0x0C:0~0x1F (=0~9999):(=0~12):(=0~31)	表2の現在年月日情報のプロパティ内容 1~0x270F:1~0x0C:1~0x1F (=1~9999):(=1~12):(=1~31)	

2	18	現在の年月日を、年:0x0000~0x270F(0~9999)、月:0x00~0x0C(0~12)、日:0x00~0x1F(0~31)で示す。 1~2バイト目は1固まりのunsigned shortデータとして扱われ、年(2Byte)を示し、3バイト目は月(1Byte)を示し、4バイト目は日(1Byte)としてプロパティ値とする。	現在の年月日を、年:0x0001~0x270F(1~9999)、月:0x01~0x0C(1~12)、日:0x01~0x1F(1~31)で示す。 1~2バイト目は1固まりのunsigned shortデータとして扱われ、年(2Byte)を示し、3バイト目は月(1Byte)を示し、4バイト目は日(1Byte)としてプロパティ値とする。	
2		識別番号プロパティのアクセスルールがSet/Get	識別番号プロパティのアクセスルールはGetのみ	
		表1.3「住宅用太陽光発電システムクラス」について、目次、表1.3、3.3.10で表記が異なっている。	「住宅用太陽光発電クラス」とする。	
		表1.3 0x7C~0x7Fがfor future reservedとなっている。	「0x7E~0x7F」をfor future reservedとする。	
		表1.3 電気温水器のみ「電気温水器クラス」との表記となっている。	「電気温水器」とする。	
3	3	5 冬季H/Pユニット定格消費電力プロパティ、中間期H/Pユニット定格消費電力プロパティ、夏季H/P定格消費電力プロパティの足図がunsigned char×2となっている	「unsigned short」とする。	
3	3	11 冷温水熱源機クラス詳細説明の(5)、(6)が「プロパティの地域を越える場合」と表記されている。	「プロパティの値域を超える場合」とする。	
3	3	12 床暖房クラス詳細説明の(4)、(5)が「プロパティの地域を越える場合」と表記されている。	「プロパティの値域を超える場合」とする。	
3	3	13 燃料電池クラス詳細説明の(12)が「プロパティの地域は」と表記されている。	「プロパティの値域は」とする。	
3	3	13 温水器湯温計測値プロパティの単位が「-」	温水器湯温計測値プロパティの単位を「°C」	
3	3	13 積算ガス消費量計測値のデータ型が「unsigned char」、データサイズが「1 byte」	積算ガス消費量計測値のデータ型を「unsigned long」、データサイズを「4 byte」	
3	3	13 ONタイム予約設定値のプロパティ内容の上段部が「0x31~0x38」	ONタイム予約設定のプロパティ内容の上段部を「予約入/予約切」	
3	3	13 ONタイム予約設定値の単位が「分」	ONタイム予約設定値の単位を「-」	
3	3	13 沸き上げ中状態の詳細説明がない	燃料電池が現在沸き上げ中であるか否かの状態を、沸き上げ中:0x41、非沸き上げ中:0x42で示す。	
3	3	13 温水器湯温計測値の詳細説明がない	貯湯槽内の現在湯温を°Cの単位で示す。プロパティ値の範囲は、0x00~0x64(0~100°C)とする。	
3	3	13 燃料電池クラスのEPC:「0xC9」のプロパティ名称が「積算ガス電力量リセット設定」となっている	「積算ガス消費量リセット設定」とする	
3	3	14 蓄電池クラスのプロパティ名称 ・充放電量指定1 ・充放電量指定2	・充放電量設定値1 ・充放電量設定値2 とする。	プロパティの命名手引きに従う
3	3	14 蓄電池クラスの詳細説明が (5)瞬時放電電力計測値 (6)瞬時放電電流計測値 (7)瞬時放電電圧計測値 となっている	(5)瞬時充放電電力計測値 (6)瞬時充放電電流計測値 (7)瞬時充放電電圧計測値 とする	
3	3	14 蓄電池クラスプロパティ表内の瞬時充放電電流計測値の値域が「1~3,276.6A」と「-1~-3,276.7A」と表記されている。	「0.1~3,276.6A」、「-0.1~-3,276.7A」とする。	
3	3	14 蓄電池クラスプロパティ表内の充放電量指定2の値域が「1~3,276.6Ah」と「-1~-3,276.7Ah」と表記されている。	「0.1~3,276.6Ah」、「-0.1~-3,276.7Ah」とする。	
3	3	14 蓄電池クラス詳細説明の(6) 瞬時充放電電流計測値の値域が「1~3,276.6A」と「-1~-3,276.7A」と表記されている。	「0.1~3,276.6A」、「-0.1~-3,276.7A」とする。	
3	3	14 蓄電池クラス詳細説明の(9) が「積算放電電力量リセット」と表記されている。	「積算放電電力量リセット設定」とする。	
3	3	14 蓄電池クラス詳細説明の(11) が「積算充電電力量リセット」と表記されている。	「積算充電電力量リセット設定」とする。	
3	3	14 蓄電池クラス詳細説明の(14) 充放電量指定2の値域が「1~3,276.6Ah」と「-1~-3,276.7Ah」と表記されている。	「0.1~3,276.6Ah」、「-0.1~-3,276.7Ah」とする。	
3	3	15 積算電力量計測値履歴1及び履歴2の履歴データなしの場合の値が「0xFFFFFFFF」	積算電力量計測値履歴1及び履歴2の履歴データなしの場合の値が「0xFFFFFFFFE」	
3	3	16 水流量メータクラスのセキュリティデータ情報のデータサイズが「5byte」となっている	「4byte」とする	
3	3	16 水流量メータクラスの積算水流量計測値及び積算水流量計測値単位の詳細説明の名称が「積算水道計測値」「積算水道量計測値履歴」となっている。	「積算水流量計測値」「積算水流量計測値履歴」とする。	
3	3	16 積算水道料計測値履歴の履歴データなしの場合の規定がない。	計測値履歴の未計測の時刻のデータに関しては、0xFFFFFFFFEを用いるものとする。	

3	3	17	積算ガス消費量計測履歴の履歴データなしの場合の規定がない	計測履歴の未計測の時刻のデータに関しては、0xFFFFFFFFを用いるものとする。	
3	3	19	分電盤メータリングクラス詳細説明(6)(7)(8)の、アンダーフロー、オーバーフロー、データなしの16進表記に「0x」の表記がない箇所がある。	16進表記の箇所を「0x*****」とする。	
3	3	20	スマート電力量メータクラス詳細説明(9)(12)(15)(16)(17)の、アンダーフロー、オーバーフロー、データなし、プロパティの値域の16進表記に「0x」の表記がない箇所がある。	16進表記の箇所を「0x*****」とする。	
3	3	20	スマート電力量メータクラスの計器認定番号プロパティのデータ型が「unsigned char」となっている	「unsigned char × 10」とする。	
3	3	20	スマート電力量メータクラスの検定満期情報プロパティのデータ型が「unsigned char」となっている	「unsigned char × 6」とする。	
3	3	20	スマート電力量メータクラス プロパティ表内のプロパティ名称が 相線式設定 検定満期情報 瞬時電力値 瞬時電流 瞬時電圧	相線式設定情報 検定満了年月 瞬時電力計測値 瞬時電流計測値 瞬時電圧計測値	プロパティの命名手引きに従う
3	3	20	スマート電力量メータクラス プロパティ表内の相線式設定の内容 相線式の設定を示す。	相線式の設定状態を示す。	Getのみなので内容の記載がおかしい
3	3	20	スマート電力量メータクラス プロパティ表内の計器認定番号の内容 型式認定計器の型式番号を示す。	型式認定計器番号を示す。	
3	3	20	スマート電力量メータクラス プロパティ表内の検定満期情報の内容 メータの検定満了年月を示す。	メータの検定満了年月をASCIIコードで示す。	
3	3	20	スマート電力量メータクラス詳細説明 (2) 電力量メータ区分 計器により計量されている種別(箇所)を メータ電力区分として示す。	(2) 電力区分 計器により計量されている種別(箇所)を電力区分として示す。	プロパティ表と名称不一致
3	3	20	スマート電力量メータクラス詳細説明 (4) 相線式設定 計測器の相線式を設定する。	(4) 相線式設定状態 計測器の相線式の設定状態を示す	命名手引きにしたがう。 説明内容がセットのように記載されている。 計測器を計器に統一
3	3	20	スマート電力量メータクラス詳細説明 (5) 合成変成比 計測器の合成変成比	計測器の合成変成比	計測器を計器に統一
3	3	20	スマート電力量メータクラス詳細説明 (6) 合成変成比の倍率 計測器の合成変成比	計測器の合成変成比	計測器を計器に統一
3	3	20	スマート電力量メータクラス詳細説明 (6) 合成変成比の倍率 計測器は、大電流及び大電圧をダイレクトに 接続することができないため、大電流及び 大電圧を変圧器(VT)及び変流器(CT)を介 して電力量等を計測するケースが一般的で ある。 この場合、変圧器及び変流器の二次側の値 を計測した結果を合成変成比倍して一次側 の計測値に換算する方法を用いる。	大電流及び大電圧の場合、計測器を直接接続することができないため、変圧器(VT)及び変流器(CT)を介した二次側の電力量等を計測するケースがある。 この場合、変圧器及び変流器の二次側の計測値を合成変成比倍して一次側の計測値に換算する。	文章がわかりづらいため修正
3	3	20	スマート電力量メータクラス詳細説明 (6) 合成変成比の倍率 単相3線式 100V、250A/5Aの計器を利用し た場合 ・合成変成比=(100V/100V)×(200A/5A)=40 ・倍率=1 計測器の合成変成比=合成変成比×倍率 =40×1=40 この場合、100V,5Aの定格電力を計量して いる場合、 二次側電力=100V×5A×2=1kW 一次側換算すると、1kW×40=40kWとな る。	単相3線式 100V(変圧器なし)、200A/5Aの変流器 が付属した計器で100V,5Aを計測した場合 ・合成変成比=(100V/100V)×(200A/5A)=40 ・倍率=1 ・計測器の合成変成比=合成変成比×倍率=40×1=40 二次側電力=100V×5A×2=1kW 一次側の換算した電力値はすると、1kW×40=40kW となる。	例題の表現を修正
3	3	20	スマート電力量メータクラス詳細説明 (9)、(11)、(12)、(13)の一部で積算電力量単 位に記載している内容が重複しているため 削除 積算電力量単位(積算電力量に対する倍 率)が、0x00の場合1kWh、0x01の場合 0.1kWhの単位、0x02の場合0.01kWh、0x03 の場合0.001kWh、0x04の場合0.0001kWh、 0x0Aの場合10kWh、0x0Bの場合100kWh、 0x0Cの場合1000kWh、0x0Dの場合 10000kWhの単位を取るものとする。	左記の部分を削除	
3	3	20	スマート電力量メータクラス詳細説明 (11)、(13)の一部に積算電力量単位のEPC 記載漏れ。あわせて上段の修正による語尾 を修正。 積算電力量単位のプロパティ値により単位 を示し、	積算電力量単位(EPC=0xE1)のプロパティ値により 単位を示す。	

